

西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第3期） 平成26年度の取組結果の概要

1 西脇市役所地球温暖化対策実行計画（第3期）の概要

(1) 計画期間

平成24年度から平成28年度 5年間

(2) 温室効果ガス総排出量削減目標

平成28年度までに基準年度（平成22年度）から6.0%削減

(3) 重点取組

- ア 再生可能エネルギー設備の導入
- イ 施設・設備の省エネ化の推進
- ウ 低公害車・低燃費車の導入

2 温室効果ガス排出状況

項目	単位	H22	H24		H25		H26	
		基準年度	実績	H22比	実績	H22比	実績	H22比
ガソリン	kl	36.8	36.6	-0.5%	37.8	2.7%	33.4	-9.2%
灯油	kl	142.3	140.3	-1.4%	120.1	-15.6%	106.8	-24.9%
軽油	kl	12.2	8.6	-29.7%	11.1	-8.6%	11.6	-4.5%
A重油	kl	79.0	111.5	41.1%	33.5	-57.6%	4.0	-94.9%
LPG	t	8.6	7.1	-18.0%	3.8	-55.9%	0.9	-89.9%
都市ガス	千m ³	1,067.6	957.8	-10.3%	817.7	-23.4%	897.5	-15.9%
電気使用量	千kWh	15,608.7	14,911.9	-4.5%	15,282.6	-2.1%	15,021.9	-3.8%
笑気ガス	kg	129.2	131.0	1.4%	190.0	47.1%	72.0	-44.3%
公用車走行量	千km	524.0	490.6	-6.4%	496.8	-5.2%	462.6	-11.7%
カーエアコン	台	75.0	78.0	4.0%	77.0	2.7%	76.0	1.3%
C02総排出量	t-C02	7,522.9	7,151.3	-4.9%	6,699.5	-10.9%	6,636.4	-11.8%

※取組効果を正當に評価するため、基準年度の排出係数を固定してC02排出量の算定を行っています。

※最新の排出係数によるC02排出量：10,166.5t-C02（基準年度比35.1%増）

【評価】

- ・ H26温室効果ガスの総排出量は、H22と比較し11.8%減少しました。
- ・ 各燃料等使用量の増減の主な理由については、下記のとおりです。

【燃料使用量等増減の主な理由】

燃料等	増減	主な理由
灯油	-24.9%	・ 学校給食センターの統合による減（H25）
A重油	-94.9%	・ 学校給食センターの統合による減（都市ガスに変更）（H25） ・ 総合市民センターの耐震工事（冬期利用なし）（H26）
LPG	-89.9%	・ 学校給食センターの統合による減（都市ガスに変更）（H25）
都市ガス	-15.9%	・ 都市ガス代高騰に伴い、西脇病院のエネルギーを電気にシフト ・ 第二庁舎の空調改修（熱源を電気に変更）（H25） ・ マナビータ、生活文化総合センターの空調改修（H23）

3 主な取組

(1) 重点取組

- ア 再生可能エネルギー設備の導入
 - 太陽光発電設備の導入
 - ・ 上戸田浄水場 (20kW)
- イ 施設・設備の省エネ化の推進
 - 照明のLED化
 - ・ 総合市民センター (体育館)、重春小学校 (体育館)、防犯灯
 - OA機器の省エネ化
 - ・ 省エネPCに更新 (60台)
- ウ 低公害車・低燃費車の導入
 - 2台 (内1台は電気自動車)

(2) その他の取組

- ア 節電対策の徹底
 - 公共施設における不使用場所の消灯 (昼休み時、トイレ等)
 - 廊下及び窓際照明の間引き・消灯
 - 空調使用の抑制
 - ・ 稼働時間の短縮
 - ・ 設定温度の徹底 (冷房時28度、暖房時19度)
 - 定時退庁の推進
 - ・ 水曜日、金曜日
 - パソコン、コピー機器等の節電モードの設定 ほか
- イ 緑のカーテン大作戦の実施
 - 公共施設30施設
- ウ 職員全員が環境行動評価シートで自身の環境行動をチェック
- エ 各課・施設における活動量 (温室効果ガス総排出量) の取りまとめ
- オ ノーマイカーデーの実施 (毎月第1水曜日)